

職員による自己評価

A環境面

- ・ 十分な支援スペースの確保はできている。
- ・ 人員配置 2:1 で対応。
- ・ 室内の段差はほぼなく、窓枠にクッション材を張るなど安全に配慮している。

B 児童への支援内容

- ・ 日々のミーティングで検討を重ね、支援に反映できるよう周知徹底を行っている。
- ・ PDCA がうまく回りきらない事がある。

C 関係機関との連携

- ・ 必要に応じて会議への参加を行っているが、会議開催の発信は行っていない。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・ 送迎時に日々の様子や今後の予定などをお伝えしている。

E 非常対応

- ・ 十分とは言えないが、避難訓練や災害を想定した移動手段の検討を行っている。

保護者による評価

A環境面

- ・ 現在は十分だが子どもが増えたら狭いと思う。

B 児童への支援内容

- ・ 外出など子どもが楽しめる活動を考えてくれている。(特に学校休業日)
- ・ 個別支援計画面談で日々の様子も含めて話をしてくれている。

C 事業所からの情報発信

- ・ 定期的なお便りはないが、送迎時に子どもの様子や活動内容を詳しく報告してくれている。
- ・ 保護者会や交流会は開催されていない。

D 非常対応

- ・ 子どもに変化があれば、すぐに連絡をしてくれている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 日々の送迎時に子どもや活動内容の報告をすることで、参加時の様子を知る事(伝える事)ができている。
- ・ 子どもの様子に合った活動が展開できている 特に学校休業日の外出は子ども・保護者共に定着しており、楽しみにされている。

【相違点】

- ・ 支援スペースの広さは現在では十分だが、今後子どもの人数が増えた時には狭いのではないか。
- ・ 保護者会や交流会を開催していない……就労されている家庭やひとり親家庭が多く、実際に開催してもどれだけの参加があるのか不明。また、家庭の負担が増えるのではないかが懸念される。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・送迎時のご家族とのコミュニケーション
- ・学校休業日の活動内容が現在利用されている子ども・保護者の希望とマッチングしている（特に外出）
- ・ひとりひとりに合った支援の展開

事業所の改善点

- ・定期的な広報誌（お便り）の発行
- ・子どもの人数が増えた時の支援スペースの確保（レイアウト変更を検討する）
- ・保護者会や交流会開催の検討

事業所の改善への取り組み

- ・支援スペースのレイアウト変更
- ・新年度より年4回を目指し、ご家庭向けの広報誌の発行
- ・各家庭にアンケートを実施し、保護者会や交流会の開催を検討する

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今回の自己評価を行った事で、事業所の方針や活動内容が現在利用されている子どもやご家族の要望にほぼ添えていることが確認でした。しかしまだ不十分な点もあるので検討・改善を行い、より子どもやご家族に寄り添う活動内容を展開したいと思いました。

事業所名 ファミリー・キッズ弥生台

担当者 大橋雅男